

前田病院だより

Maeda Hospital News

平成29年 7月発行

No. 48

前田病院広報



病院理念

心・信・真

《安心と信頼の医療を真心こめて》

★ ★ ★ ★ ★ 夜寝てる間に透析 ★ 好評 ★ ★ ★ ★ ★

佐賀新聞に当院の「オーバーナイト透析」の記事が掲載されました。その記事をここに紹介します。

佐賀県内で当院が唯一対応する医療機関で、県内外から患者さんを受け入れており、利用ベッド数を8床から13床に増床しました。夜間に実施することで仕事を休む必要がない上、体への負担が少なく高い効果が得られる長時間透析が可能で、患者さんの就労支援や生活の質向上につながっています。透析は血液中に蓄積された毒素を体外に排出する治療で、通常は2日に1度4～6時間行います。病院の開院時間に合わせると仕事を休むか早退する必要があります。オーバーナイト透析は午後10時半までに来院して睡眠中の8～9時間で行うため、仕事を終えた後もゆとりをもって過ごすことができ、翌朝もそのまま通勤が可能です。患者さんの特別な費用負担もありません。

オーバーナイトは長時間透析を長い期間継続できるという利点もあります。近年は苦痛を訴える患者さんの要望もあって透析時間を4時間程度に短くするのが主流ですが、当院では以前から6時間以上の長時間透析を提唱してきました。時間をかけることで老廃物を確実に除去し、心臓にかかる負担も少なくなります。厳しい食事制限が不要で透析後の疲労感も低減できます。透析患者さんは10年で半数が亡くなるとされていますが、当院がまとめた27年間の臨床データによると、長時間透析患者の生存率は10年後、20年後ともに国内平均の2倍となっています。「前は具合が悪くなって仕事を抜けることもよくあったけれど今は全くなかった」。治療の為に伊万里市内に移り住み、映像制作の仕事をする下田真作さん(42)はオーバーナイトを始めて丸1年。短時間透析は体力を奪われて気持ちも沈んでいたが、今では県外を飛び回ることもできるようになった。「思い通りに仕事ができ、精神面でも収入の面でも全然違う」と充実ぶりを語られました。当院は昨年6月に開院100周年事業として福岡市・天神に「天神オーバーナイト透析&内科」を開院しました。都市圏は特に需要が多く、フル稼働の状況が続いています。当院理事長は「医者やスタッフの確保もあるので急速に広げることは困難だが、透析で悩む人の希望になれるよう努力したい」と考えております。

* 7月2日佐賀新聞掲載記事を一部編集しています



前田病院

〒848-0027 伊万里市立花町 2742-1

TEL0955(23)5101 FAX0955(23)3315

腎センター直通 TEL0955(23)8835

HP: www.maeda-imari.or.jp



天神オーバーナイト透析&内科

〒810-0001 福岡市中央区天神 4-2-20 天神幸ビル 1階

TEL092(753)8373 FAX092(753)8371

HP: www.kouzen-tenjin.or.jp

前田病院糖尿病教室のご紹介

生活習慣病の一つである糖尿病の予防、合併症予防を目的とした糖尿病教室を年に2クール（1クール5回）開催しています。糖尿病について正確で新しい知識を習得し、正しい自己管理のもとに日常生活を送ることを目的として当院の医師、糖尿病療養指導士、看護師、薬剤師、健康運動指導士、理学療法士、管理栄養士、臨床検査技師、臨床心理士、がチームを組み、各分野でテーマを設けて内容を考えています。糖尿病の多くは2型糖尿病で原因として生活習慣が大きく影響しています。生活習慣の中の運動と食事についてはみなさん1度は考えたり、なにかに取り組んだりされたことはありませんか？ 続けて出来ていますか？

「継続すること」…運動と食事の中で1番難しくて、1番大事なことです。

糖尿病教室と言っても話を聞くだけではありません。糖尿病の予防、治療を続けてもらうために実際に運動では外でウォークラリーを開催して運動前後で血糖値を測ったり、食事ではバイキング形式でひとりひとりに合った食事の量をとってもらって実際に食べたり、今年は調理実習も開催しました。

運動と食事だけでなく、フットケアで靴の選び方、足の見方、体調不良時の服薬の考え方、検査機器の体験、参加者同士でグループワークをする内容の教室もあります。

そして糖尿病教室でしか口にできない当院オリジナル糖尿病弁当（¥300）も絶品です！

参加者の方から「おいしい！」「こんなに食べていいの？」などのお声もいただいています。

まだ1度も参加したことがない方、糖尿病じゃないから大丈夫と思っている方など治療はもちろんですが糖尿病（合併症）“予防”も始めませんか？？

日頃聞けない気になることも気軽にご相談していただけます！

今年の秋は街角糖尿病教室を開催予定にしています！

当院受診の方、ご家族の方、病気を理解したいと思われる方、糖尿病を予防したい方、

お誘い合わせの上ご参加をお待ちしております。

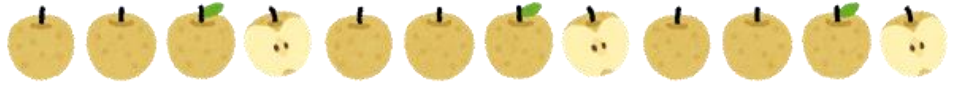




暑い夏をのりきろう

管理栄養士 古賀恵子

食欲がないからといって食事を摂らないでいると体力が落ちてしまいます。少量でも1日3食、食事を摂ることが大切です。夏に不足しがちなたんぱく質や、ビタミン、ミネラルなども積極的に摂りバランスの良い食事を心掛けましょう。今回、伊万里名産梨を使ったドレッシングを紹介します。梨にはカリウムや食物繊維の他、新陳代謝を活発にするアスパルギン酸が含まれています。夏バテの疲労回復にもいいですよ。牛肉に含まれているたん白質と一緒に上手に摂取しましょう。



梨ドレッシングサラダ

[材料・一人分]

牛肉（もも肉薄切り）	60g
酒	4cc
生姜	4g
塩	少々
水	500cc
大根	20g
きゅうり	20g
赤ピーマン	20g
黄ピーマン	20g
プチトマト	20g

[作り方]

- ①鍋に分量の水、酒、生姜を入れ沸騰してから牛肉を1枚ずつ入れ、しゃぶしゃぶの要領で火を通す。
- ②大根、きゅうり、赤ピーマン、黄ピーマンは4～5cmの線切りにしておく。
- ③プチトマト、レタスは洗って水切りをしておく
- ④①の牛肉の上に野菜を置いて盛り付け梨ドレッシングをかける。



梨ドレッシング

材料

梨	50g
オリーブオイル	6cc
パセリ	少々
塩	少々
黒こしょう	少々



[作り方]

梨の皮を剥ぎすりおろす。その中に調味料を全部入れて混ぜる。



介護病棟の運動会

空梅雨ぎみの6月介護病棟で運動会を開催しました。4ユニットを赤白チームに分け選手宣誓で始まりました。ラジオ体操、ボール運びリレー、玉入れと真剣に競技をされ大いに盛り上がりました。スタッフの三輪車リレーもあり短い時間ではありましたが、入居者の皆さんとの楽しい運動会が出来ました。



外来診療担当医師

受付・検査時間 8:30～12:00 / 14:00～17:00

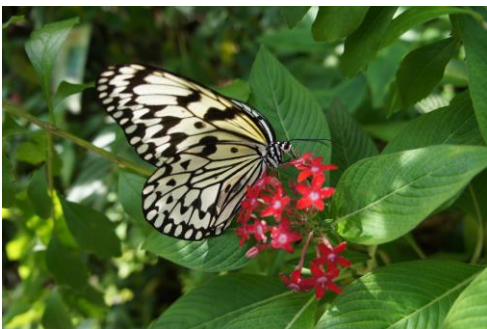
診療時間 9:00～12:30 / 15:00～17:30

*休診 土曜午後、日曜、祝日

診療科目	月	火	水	木	金	土(午前)
腎臓内科		前田篤宏 山崎政虎	前田篤宏 山崎政虎 池田裕次(午前)	前田篤宏	前田篤宏 山崎政虎 九州大学医師 (第2・3週午前)	前田篤宏 山崎政虎 九州大学医師 (第1・2・4週)
血液内科	松崎美和子 北村浩晃(15時～)	松崎美和子	松崎美和子		松崎美和子 久保田 寧	松崎美和子 (月1回)
呼吸器内科	前田智美 (10:00～13:00)	前田智美 (15時～)	木下義晃		前田智美 (10:00～13:00)	坂本篤彦 (第2・第4)
漢方内科			栗山一道(15時～)	栗山一道(午前)		
一般内科	前田拓郎 中島明希	前田拓郎 中島明希	前田拓郎	前田拓郎 中島明希	中島明希	
糖尿病内科	前田麻木 松田やよい(午前)	前田麻木		前田麻木	前田麻木 (午後は予約制)	前田麻木
消化器内科 内視鏡	菊地宏樹	菊地宏樹	菊地宏樹 冬野雄太 (9時～16時)	別府剛志 (9時～14時)	菊地宏樹	菊地宏樹 (月2回)
整形外科	副島整形より (午前)	副島整形より (午前・月2回)	副島整形より (午前)			
※受付時間(11:30 まで)						

*上記担当医師につきましては、都合により診療時間等の変更が生じる場合がございます。

*担当医に関するお問い合わせは、23-5101 までお願いいたします。



子ども達とお散歩に行くと、よく見かける『蝶』。みんな大好きで「ちょうちょ！」と大喜びです。そんな蝶ですが、見たあとは良いことが起きたり、悪いことから守ってくれるという言い伝えがあり、縁起が良いそうですよ。そして「新しい自分になる」「美しく強く変化する」という意味もあるそうです。『美』や『喜び』の象徴、縁起が良い…可憐で美しい上に良いことばかり！もう、蝶の虜になってしまいますね。願掛けに、蝶のモチーフの物をいろいろと買ってしまいそうです(笑)

Photo 古賀

編集後記

最近の話題のニュースは何と言っても将棋の史上最年少プロ棋士、藤井聡太四段の連勝記録更新のニュースではないでしょうか。天才とも言われますが子供の頃より将棋をしている時間が大好きという事が、こんな人物を誕生させるのではと思います。当院のロビー音楽会で演奏して頂くプロの奏者の方の中にも、とにかくずっと弾いていたいと話されたバイオリニストの方がいらっしゃいました。皆さんから賞賛される人たちはどんな職業であれ、日々の努力をする事が大好きという気持ちを持てるかという事なのかな…とそんな事を思ったりします。大好きなはずの趣味でもすぐ疲れを感じてなかなかはかどらず、体力の無さを痛感し溜息まじりの日々ですが、ここで諦めるか、体力をつける努力をするか…残りの人生を造る大きな違いになりそうです。

中村

